

初・中期一発処理除草剤

農林水産省登録 第23537号

ガンガン[®]

1キロ粒剤

ガンガン
枯らさず。

ガンガン
雑草コ
な



「フェノキサスルホン」配合

- ノビエに対し、高い効果と長期残効を示します。
- 一年生広葉雑草の後発生を抑えます。

「ピリミスルファン」がノビエ、
一年生雑草・多年生雑草を幅広く抑えます。

2成分

特別栽培にも使いやすいです。



田植同時処理もできます。





水稲用 初・中期一発処理除草剤

ガンガン® 1キロ粒剤

農林水産省登録 第23537号

- 有効成分
ピリミスルファン……0.50%
フェノキサスルホン……2.0%
- 人畜毒性
普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

特長

- ◆2成分の初・中期一発処理除草剤です。
- ◆新規有効成分「フェノキサスルホン」により、ノビエおよび一年生広葉雑草(コナギ・アゼナ類)に長期残効を示します。
- ◆「ピリミスルファン」により、高葉齢のノビエや多年生雑草に高い効果を示します。
- ◆水稲に対する安全性に優れ、移植時処理(田植同時)が可能です。

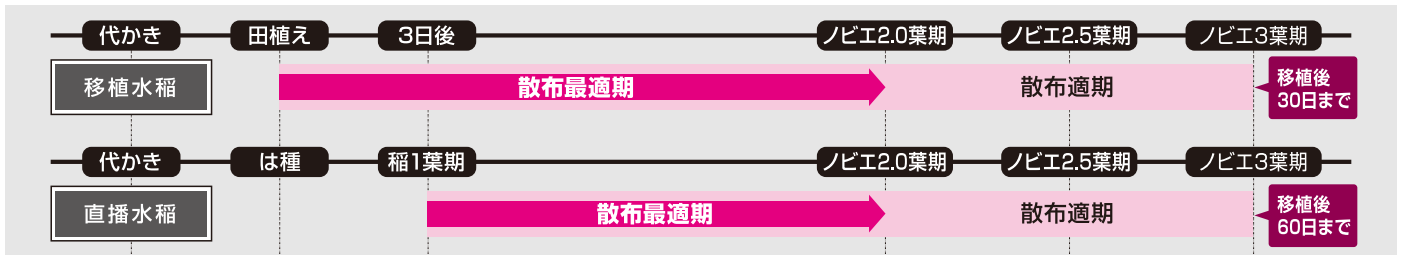
■適用雑草及び使用方法

2021年12月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1kg/10a	1回*	温水散布又は 無人ヘリコプターによる 散布
	移植時	田植同時散布機で施用			
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			温水散布又は 無人ヘリコプターによる 散布

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピリミスルファン…2回以内 フェノキサスルホン…2回以内

■上手な使い方／標準的な使用時期



＜使用上の注意＞

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失わないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ウリカワは3葉期まで、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまで十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業は丁寧に行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行ってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさせていただきます。
 - 砂質土壌の水田および漏水水田(減水深が2cm/日以上)
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 - 植穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
 - 発芽直後の稲に対して薬害を生じるおそれがあるので、適切な覆土をおこない、稲の1葉期以降に散布してください。
 - 土中播種で使用してください。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさせていただきます。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意してください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専門の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性にあわせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れた圃場内に散布してください。

- 水源池、飲料水などに薬剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさせていただきます。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがありますので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

＜安全使用上の注意＞

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 作業時は着用している高圧な長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

※保管：密封し、直射日光を避け、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。 ●防除日誌を記載しましょう。



自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
 本社：東京都台東区池之端1-4-26 ☎110-8782 TEL03-3822-5036
 ホームページ <https://www.kumiai-chem.co.jp>

2066 (22-1)